

会 議 概 要

会議名	令和2年度第1回足柄上病院と小田原市立病院の機能・連携方策に係る意見交換会
日 時	令和2年8月6日 16時～17時30分
場 所	小田原合同庁舎 3階会議室
出席者	行政関係 15名、医療関係 5名 ほか陪席者
概 要	
<p>○議題1 県西地域の医療提供体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県西地域の現状と課題、今後の県西地域の医療提供体制について説明。 <p>○議題2 公立2病院の機能と連携の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公立2病院から病院機能の課題と地域の中で今後果たそうとしている役割、他院に期待する役割について説明。 <p>○議題3 意見交換</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療と感染医療を並行し、医療機能を果たしながら感染を防いでほしい。 ・ 人口減少、高齢化等にどう取り組むのか、2030年がキーになる。公立2病院がいかに連携し、取り組めるのかが大事である。 ・ 周辺部との広域的な取り組みも大事。 ・ 2040年に向け、人口減少への対応を考えていかなければならない。 ・ 人口減少が進んでも、住民の方々の理解と安心感を保ちながら医療連携を考えてほしい。 ・ 今回のコロナ禍で、公立2病院の必要性を改めて感じている。 ・ コロナ感染が地域でどのように動いているのか、細かいところまで説明してくれると住民に安心感を与えられる。 ・ 精密検査や病状の悪化時等に受診ができる公立病院の存在は、地域住民が安心して暮らせるために重要。医師の確保という大きな課題もあるが地域全体で解決に向けて取り組んでいかなければならない。 ・ 県西地域では、公立2病院が一番の核になってほしい。 ・ 公立2病院は地域の基幹病院として、急性期医療や救急医療において重要な役割を担っている。両病院の機能分担・連携を検討するにあたり、地域の医療に影響がないように望む。 ・ 公立2病院の機能分担・連携の結果、搬送時間の増加等で、傷病者への負担や消防能力の低下を招かないことを望む。 ・ 公立2病院は無くてもならず、医療圏内の拠点として存続を要望する。さらに今回のコロナ禍を受け、両病院の果たす役割の大きさを実感している。 ・ 救急医療、産科医療、小児科医療の提供、災害拠点病院の体制強化、感染症対策 	

- の機能充実については、機能分担・連携を図るうえでも維持してほしい。
- ・コロナ禍において医療資源の少なさが、県西地域の最大の弱点であると分かった。良い教訓とし、公立2病院がどのように具体的な連携を取り、この地域をまとめていけるのか。今後、具体的な話し合いをしてほしい。
 - ・県西地域一体の機能として、公立2病院が急性期医療をしっかりと担い、民間病院がどのように支えられるか。公的病院、私的病院にも、得意不得意分野がある。
 - ・人口減少の中で、全ての機能を2病院が持つ必要はないかもしれない。
 - ・公的病院の連携と集約については、私的病院も含めて、地域全体として一つの機能を果たせるように考えていきたい。
 - ・大規模災害、地震災害に対応する医療体制は、集約化せず公立2病院両方で、しっかりとやらなければならない。
 - ・感染も災害の一種。感染、災害への対応は集約化しない形で考えてほしい。
 - ・全ての病院が日常診療を崩壊させず、コロナ警戒態勢にコンバートできる病床数を何床用意でき、それが可能なのか、十分検証ができていたとは言い難い。機能分担・連携の中では、どちらがやる、やらないという問題ではない。

○議題4 その他（今後の進め方等）

- ・公立2病院で具体的な連携について意見交換し、それを受けて地域課題の踏まえ県西地域自治体との意見交換、その後、県西地域医療関係者との意見交換を行う予定。

次回開 催予定	令和2年11月頃
------------	----------